



Prudential

2016年度 変額終身(特別勘定)決算のお知らせ

変額 終身保険

特別勘定グループVL01型

- 当資料は、特別勘定の運用状況等を報告するための資料であり、生命保険の販売または、特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
- この商品は、万一の保障を終身にわたり確保できる終身保険と、特別勘定の運用実績に基づいて死亡保険金額や解約返戻金額等が変動(増減)する変額保険の特徴をあわせもった生命保険です。
- 当資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

2017年7月作成



Prudential

PGF生命

ブルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命

ご契約者のみなさまへ

弊社保険につきまして、日頃よりご愛顧、ご継続をいただき誠にありがとうございます。
さて、2016年度の決算を終えましたので、特別勘定についての決算概要をご報告申し上げます。

1. 市場動向 (2016年4月1日～2017年3月31日)

市場動向

国内株式市場は、英国における国民投票の結果がEU離脱（Brexit）となったことに伴う先行き不透明感から一時15,000円を割り込む場面もありましたが、11月の米大統領選挙でトランプ氏が当選を果たすと、新政権による経済政策への期待から世界的に株高が進み、当年度末の日経平均株価は18,909.26円で終了しました。

国内債券市場は、日銀の国債買入れオペにより金利上昇が抑制される中、10年国債金利がゼロ%を下回る水準で推移しましたが、米大統領選挙の結果を受けた欧米での金利上昇を背景に、国内金利は上昇し、当年度末の10年国債金利は0.065%で終了しました。

米国株式市場は、良好な米国経済指標や原油価格の回復などの後押しを受けて株高傾向となりました。また、米大統領選挙の結果を受けて、将来の政策への期待感から株価が大幅に上昇した結果、S&P500種指数は2,362.72で終了しました。

米国債券市場は、追加利上げ期待の後退やBrexitを巡る先行き不透明感などから金利は低下し、一時、米国10年物国債利回りが1.4%を下回る場面がありました。当年度末にかけては、米大統領選挙の結果が好感され金利は上昇し、米国10年物国債利回りは2.3%台で終了しました。

外国為替市場は、1ドル112円台で始まりましたが、Brexitを背景としたリスク回避や日銀の金融政策への失望感により一時1ドル99円台まで円高が進行する場面がありました。しかし、米大統領選挙以降ドル高円安が進行した結果、当年度末の為替レートは1ドル112円台となりました。

変額終身保険の運用にあたっては、資金の流入に合わせ、運用対象の投資信託の組入れ比率を高水準に保つように運用を行っております。

主な市場の動向

	10年国債利回り (日本)	日経平均株価 (円)	10年国債利回り (米国)	S&P500種指数 (米国)	ドル円相場
2016年3月末	-0.050%	16,758.67	1.77%	2,059.74	112.68
2017年3月末	0.065%	18,909.26	2.39%	2,362.72	112.19
変化幅	+0.115%	+2,150.59	+0.62%	+302.98	-0.49

2. 保有契約高

(2017年3月末)

	件数	金額 (百万円)
変額終身保険	183	2,024

3. ユニットバリューと運用利回りの推移

	世界8資産バランスファンド	
	ユニットバリュー	運用利回り
設定日	100.0000	
2016年12月末	102.2073	+2.21%
2017年1月末	102.7052	+2.71%
2017年2月末	102.7174	+2.72%
2017年3月末	102.7146	+2.71%

(注) ユニットバリューとは、会社としての運用開始時を100として持分1口あたりの価値を意味します。
運用利回りはユニットバリューの設定日からの伸び率を記載しております。
特別勘定の設定日は2016年12月1日です。

4. 資産の内訳

(2017年3月末)

(単位：百万円、%)

	世界8資産バランスファンド	
	金額	構成比
現預金	0	0.1
投資信託	113	99.9
その他	0	0.0
合計	113	100.0

5. 運用収支状況 (2016年12月1日～2017年3月31日)

(単位：百万円)

	世界8資産バランスファンド
	金額
利息配当金収入	----
有価証券売却益	----
有価証券評価益	0
為替差益	----
その他の収益	----
有価証券売却損	----
有価証券評価損	0
為替差損	----
その他の費用	----
収支差計	0

6. 特別勘定の運用状況（特別勘定名）世界8資産バランスファンド

運用方針

当特別勘定資産の運用は、主として「世界8資産バランスファンドV L（適格機関投資家限定）」

（運用会社：三菱UFJ国際投信株式会社）に投資することにより行います。

運用内容

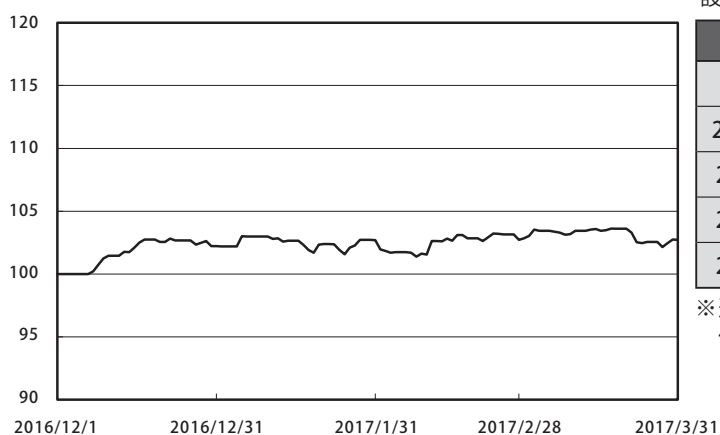
特別勘定への資金の流入に合わせ、上記投資信託の組入れ比率を高水準に保つ運用を行いました。

当年度末の投資信託の組入れ比率は99.9%です。

当年度末のユニットバリューは102.7146となっております。また、設定来のユニットバリュー騰落率は+2.71%となりました。

※投資信託の組入れ比率は、投資信託の買入・売却により発生する未払金・未収金を調整した実質的な投資信託の比率であり、特別勘定資産合計に対する構成比率とは異なります。

ユニットバリューの推移と運用利回り



設定日：2016年12月1日

	ユニットバリュー	運用利回り
設定日	100.0000	
2016年12月末	102.2073	+2.21%
2017年1月末	102.7052	+2.71%
2017年2月末	102.7174	+2.72%
2017年3月末	102.7146	+2.71%

※運用利回りはユニットバリューの設定日からの伸び率を記載しております。

保有有価証券の明細

(2017年3月末)

(単位：百万円)

銘柄名	種別	時価額
世界8資産バランスファンドV L（適格機関投資家限定）	投資信託	113

7. 組入投資信託の運用レポート

世界8資産バランスファンドV L (適格機関投資家限定)

2017年3月31日現在

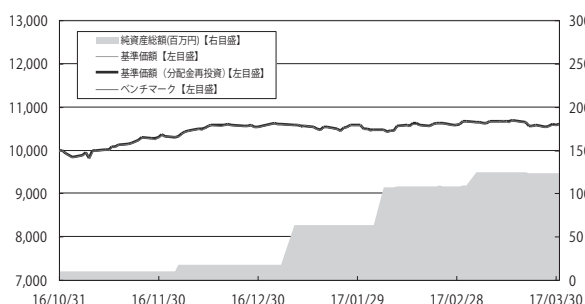
設定・運用
三菱UFJ国際投信株式会社

- ◆当資料は、「変額終身保険」の特別勘定が主たる投資対象とする投資信託について運用状況等を開示するための資料であり、生命保険契約の販売または投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
- ◆当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を購入・保有するものではありません。
- ◆当資料は、三菱UFJ国際投信株式会社による運用報告をPGF生命が提供するものであります。また、当資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

◆投資方針

- ①当ファンドは、TOPIXマザーファンド受益証券、外国株式インデックスマザーファンド受益証券、新興国株式インデックスマザーファンド受益証券、日本債券インデックスマザーファンド受益証券、外国債券インデックスマザーファンド受益証券、新興国債券インデックスマザーファンド受益証券、東証REIT指数マザーファンド受益証券、MUAMG-REITマザーファンド受益証券および短期金融資産等への投資を通じて、東証株価指数 (TOPIX) 16%、MSCIコクサイ インデックス (除く日本、円換算ベース) 20%、MSCIエマージング・マーケット・インデックス (円換算ベース) 4%、NOMURA-BPI総合42%、シティ世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース) 5%、JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円換算ベース) 4%、東証REIT指数 (配当込み) 3%、S & P先進国REITインデックス (除く日本、配当込み、円換算ベース) 3%および短期金融資産 (有担保コール (翌日物)) 3%で組み合わせた合成ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行います。
- ②対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式、公社債および不動産投資信託証券の実質投資比率が100%を超える場合があります。
- ③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ④市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

◆設定来の運用実績



- ・基準価額、基準価額 (分配金再投資)、ベンチマークは設定日前営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額 (分配金再投資) は、信託報酬控除後の値です。
- ・基準価額 (分配金再投資) は、分配金 (税引前) を再投資したものと計算しています。
- ・ベンチマークは東証株価指数 (TOPIX) 16%、MSCIコクサイ インデックス (除く日本、円換算ベース) 20%、MSCIエマージング・マーケット・インデックス (円換算ベース) 4%、NOMURA-BPI総合42%、シティ世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース) 5%、JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円換算ベース) 4%、東証REIT指数 (配当込み) 3%、S & P先進国REITインデックス (除く日本、配当込み、円換算ベース) 3%および短期金融資産 (有担保コール (翌日物)) 3%で組み合わせた合成指数です。

◆ファンド現況

	2017/3/31	前月末	前月末比
基準価額	10,593円	10,587円	+6円
純資産総額 (百万円)	124	108	+16

	基準価額	日付
設定来高値	10,677円	2017/3/17
設定来安値	9,812円	2016/11/9

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.06%	0.55%	-	-	-	5.93%
ベンチマーク	-0.03%	0.58%	-	-	-	5.91%
差	0.09%	-0.03%	-	-	-	0.02%

- ・ファンドの騰落率は、分配金 (税引前) を再投資したものと計算しております。
- ・また、ファンドの騰落率と実際の投資家利回りは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

◆分配金実績 (税引前)

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来
決算日	-	-	-	-	-	-	-
分配金	-	-	-	-	-	-	-

◆資産配分

	基本ポートフォリオ	ファンドの資産構成	マザーファンド組入比率
国内株式	16.00%	15.93%	15.90%
先進国株式	20.00%	20.18%	20.18%
新興国株式	4.00%	4.09%	4.10%
国内債券	42.00%	41.85%	41.92%
先進国債券	5.00%	4.97%	5.00%
新興国債券	4.00%	3.94%	4.07%
国内リート	3.00%	2.94%	2.94%
先進国リート	3.00%	2.86%	2.91%
短期金融資産	3.00%	3.24%	-
合計	100.00%	100.00%	-

- ・ファンドの資産構成は当ファンドに組み入れている実質的な資産の比率 (純資産総額比)。
- ・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- ・外国株式インデックスマザーファンドおよび新興国株式インデックスマザーファンドにおいて、投資信託証券 (REITを含む) の組み入れがある場合、株式に含めて表示しています。

◆各マザーファンドの騰落率

マザーファンド	主要投資対象	騰落率		
		過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月
TOPIXマザーファンド	国内株式	-0.60%	0.57%	-
外国株式インデックスマザーファンド	先進国株式 (除く日本)	0.98%	2.63%	-
新興国株式インデックスマザーファンド	新興国株式	2.61%	8.70%	-
日本債券インデックスマザーファンド	国内債券	-0.13%	-0.37%	-
外国債券インデックスマザーファンド	先進国債券 (除く日本)	0.01%	-2.88%	-
新興国債券インデックスマザーファンド	新興国債券	1.82%	2.78%	-
東証REIT指数マザーファンド	国内不動産投資信託証券	-2.05%	-3.32%	-
MUAMG-REITマザーファンド	先進国不動産投資信託証券 (除く日本)	-2.90%	-1.51%	-

- ・各期間の騰落率は「世界8資産バランスファンドV L (適格機関投資家限定)」の運用期間に応じたものです。

*本資料は三菱UFJ国際投信が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その正確性、完全性等について保証・約束するものではありません。

ご契約に関する
ご照会は
コールセンターまで

PGF生命コールセンター

通話料
無

コール ジ ブ ロ ッ ク
0120-56-2269

受付時間

平日 8:30~20:00 / 土曜 9:00~17:00 (日・祝日・12/31~1/3を除く)

「PGF生命」は「プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命」の略称です。